

七月二〇日 土曜日

今日は何かの休日である。朝九時にトラックで出発しようとするも、後部車軸にシートが巻き付いているのを発見、トラック使用あきらめる。この状態でウチの奴等は現場その他を走り回っていたのかと思うと背中が凍るよ。危険という事への感性が壊れてしまったのだろう。結局オンボロベンツで前橋に行く事になる。

十三時頃関越道路を経て前橋着。森田兼次長谷川中沢氏等と会う。森田さんは七五才になられて少し足腰が弱くなったが健在で、相変わらず明るい。この人物の天性の明るさは今の時代には無いな。ソバ屋で歓談する。幾つかの物件の製作依頼で今日は前橋に来た。久し振りに左官大将の顔を見ることができて良かった。

しかし、前橋はうだるような暑さだった。こんなに動いてどうなると思っているし、無駄をしている時間は無いのもわかってはいるのだが、どうにもならない。休息が必要だ。休みのスタイルを作らなければ。とりあえずは、このメモを記しているのが休みなのかも知らんな。

七月二一日 日曜日

六時起床。梅雨が明けて快晴は良いのだが今日も暑そうだ。六時半気仙沼より高橋工業工場長他一名来。石山研スタッフ二名と二台のトラックに分乗富士聖徳寺現場へ。メッキとステンレスの話に夢中になって中央高速道河口湖ジャンクションを気付かず通

り越し勝沼まで行ってしまいUターン。現場に着いたのが九時頃。中川さん他四名と墓の件で打ち合わせ。錆が出て試作品二号も失格。これは私と高橋工業が悪かった。高橋工業もちよっと初心を忘れ始めているな。明らかに手落ちがあったのはいなめない。高橋工業組はそのまま秩父へ。秩父の墓を見学に行った。気仙沼から東京、富士山秩父は大変だろうが、して貰わねば仕方ない。

私は富士造園と花の打合わせ。造園も面白いのだが、もう学んでいる時間が無い。

昼前、富士を離れ東京へ。十四時世田谷村着十四時三〇分名古屋の浜島さん来村。浜島医院打ち合わせ。新築案よりも増改築案をおすすめするが、どうなるか。十六時三〇分浜島さん増改築案の模型を持って名古屋へ帰る。やっと私の短かな日曜日が来た。気仙沼からのホヤを少し宗柳におすそ分けした。二十代の半ばだった。川合健二と香川県に行ったことがあった。チヨツとのスレ違いで私はイサム・ノグチに会えなかった。あの時イサム・ノグチに会っていたら私は造園家になっていたのではないかと思う。私は遂に、昔川合健二と出会った頃の川合の年令になった。若い人間の人生を変えてしまう様な私であるか大いに疑問だが、痛切に変わってしまう様な、私がそうであった相手のような人間になっているか、自分で自分をはかりにかけてみる。私はどうやら不合格であるが、若い私の学生やスタッフはどうか。生き方を変えるに足る若い人材にまだ出会っていない様な気がしきりにするけれど、私が鈍である可能性もある。時が解決する類の問題なのであるのか。たった一人でもいいからそういう未完の人材にそろそろ会わなくてはいけないかも知れない。無理を承知でそう思う。夢の又夢だな。夕方屋上菜園に上がり二時間程過ごす。カンボジアの匂い草の種を又まいた。これも、育つのだろうか。